

■学会ビジョンのパブリックコメントへの対応

No	ご指摘部分	ご指摘内容	ご意見に対するご回答（考え方・対応方針）	
			修正の有無	考え方・対応方針
01	全体	「日本観光研究学会 学会ビジョン」と「一般社団法人 日本観光研究学会 定款」との関係を整理した記載がされていないようですので、その関係性を教えてほしい。	○	定款は一般社団法人日本観光研究学会の基本情報や基本規則を定めたものであり、学会ビジョンは、その定款の内容に基づきつつ、学会の社会的役割・使命・運営の方向性の共有化を図り、計画的かつ効果的・効率的な学会運営を行うための中期的方針等を定めようとしたものです。 学会ビジョンの位置づけを明確にした前文を加筆しました。
02	2 (1) 観光学の学問領域と新たな時代における観光の役割	「自然や歴史・文化等への興味、動機として発生する…」は、文章として不成立。「自然や歴史・文化等への興味や回帰意識などを動機として発生する…」といった表記とすべきと考える。	○	ご指摘のとおり、文章として不適切でした。 ⇒「主として自然や歴史・文化等への興味、関心を動機として発生する…」に修正しました。
03	2 (1) 観光学の学問領域と新たな時代における観光の役割	『「観光現象」そのもの、および観光を取り巻く社会・経済環境は時代とともに変化、進歩するために、観光学が対象とする研究領域も日々変化し、既存の学問分野の幅を広げ、それを包摂するものとなる。』について、「観光」は不易流行として捉えるべき。	—	「観光現象には易经の時代から2千数百年間変化しない本質があるはずであり、そこに新たな外的影響が加わって市場構造が変化拡大している」のはご指摘のとおりです。本ビジョンは、「観光」について詳細な定義づけを行うことを目的とせず、研究分野の広がりや変化に力点をおいたものであり、原文のままとします。
04	2 (1) 観光学の学問領域と新たな時代における観光の役割	学会の役割を記述する上で、観光の「雇用の場の創出」と「経済効果」を中心に据えたいうえで、付加的効果の実現も目指していく方向性を整理し記述すべき。	—	観光の効果として「雇用の場の創出」＝「経済効果」以外の効果も重要と考えます。いずれにしても、本学会ビジョンにおける『2 (1)』は、学会員の基礎学問領域や研究対象、経験（年齢）等が実に多様化するなかで、理念的・基礎的な共通事項を再確認し共有化をめざしたものです。
05	3. 日本観光研究学会の活動理念と基本活動	現案は全体的にややありきたりな言葉でまとめられている。 日本の社会が抱える「観光にかかわる課題」を具体的に整理したうえで、活動目標や学会の役割兼重点施策を示すべき。 注) 3ページにわたって、具体的な問題的や課題と提言をいただいています。	—	本学会の運営主旨は、40年近く前の日本観光研究者連合の設立時の数行の文言が現時点まで踏襲されていました。また学会運営の長期方針がなく、各年度の事業計画も短期的、年度限定的な視点で立案が行われてきました。本学会ビジョンは、こうした状況を是正し、本学会の共通理念と、5年程度を目安とした学会運営の基本方針を定めたものです。 ご提言のとりまとめに執行部一同、敬服するとともに、深く感謝します。この貴重な提言内容は、本学会ビジョンを推進するなかで、学会としての重点研究領域の方針設定（必要であれば）等に活用させていただきます。